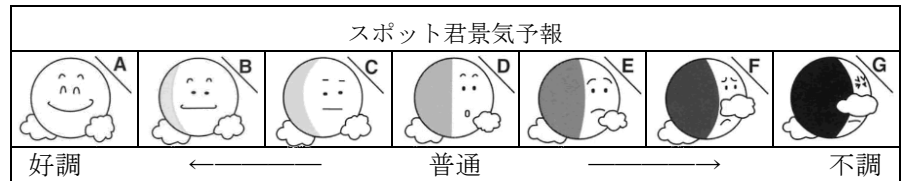


2. 目黒区内中小企業の景況（令和3年7～9月期）

（1）今期の特徴点



製造業



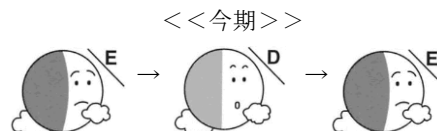
業況は△31.6で前期比0.4ポイント減と前期並の厳しさが続いた。売上額は△20.9で16.3ポイント増、収益は△23.5で10.8ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△22.7で5.2ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は6.7ポイント増の△24.9と大幅に上向く見込み。

卸売業



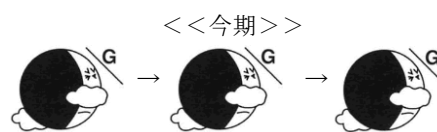
業況は△34.2で前期比4.4ポイント増と多少厳しさが和らいだ。売上額は△26.4で7.3ポイント増、収益は△20.3で12.5ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△11.4で0.1ポイント減と前期同様の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は0.4ポイント減の△34.6と今期同様の厳しさで推移する見込み。

小売業



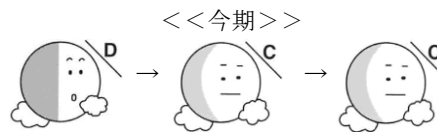
業況は△16.4で前期比5.5ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△13.4で8.6ポイント増とかなり改善し、収益は△12.6で5.1ポイント増と幾分減益幅が縮小し、資金繰りは△2.1で11.7ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は5.6ポイント減の△22.0と低調感が大きく強まる見込み。

サービス業



業況は△47.6で前期比6.7ポイント増とかなり悪化幅が縮小した。売上額は△32.2で11.4ポイント増、収益は△33.1で13.7ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△24.6で4.2ポイント減とやや厳しさが増した。来期の見通しについては、業況は10.5ポイント増の△37.1と大きく上向く見込み。

建設業



業況は3.9で前期比14.2ポイント増と好転した。売上額は△3.2で22.1ポイント増と極端に減少幅が縮小し、収益は△15.1で1.5ポイント減とやや減益を強め、資金繰りは△2.5で6.7ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は3.8ポイント減の0.1と好調感が若干後退する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

